

★（コロナ問題）制裁緩和と一部解除よびかけ＝バチエレ国連人権高等弁務官

ミシェル・バチエレ国連人権高等弁務官は3月24日、一部の国に広範囲に課されている経済制裁について、コロナウイルス感染拡大の深刻な影響を考慮して、その緩和や部分的解除を検討すべきだとよびかけました。その発言要旨は次の通りです。

感染爆発の影響を考えると、すべての国の医療崩壊を避けることが不可欠だ。経済制裁をうけている国々の何百万もの人々の権利と生活を支援するだけでなく、世界の公衆衛生上の理由からも、制裁の緩和または一時停止の必要がある。世界的なパンデミックでは、ある国での医療崩壊が私たち全員のリスクを高めるからだ。

たとえばイランではCOVID-19で少なくとも1,800人が亡くなっている。同国についての人権報告書は、人工呼吸器や医療従事者用の保護具など必須の医薬品や医療機器へのアクセスが制裁によって影響をうけていると繰り返し強調している。同国では最初の症例発見から5週間で50人以上の医師が死亡した。イランでの流行は近隣諸国にも広がっており、今後アフガニスタンやパキスタンなどの国の医療サービスに大きな負担がかかる。

キューバ、朝鮮民主主義人民共和国、ベネズエラ、ジンバブエでは、さまざまな制裁措置で医療活動が妨げられる可能性がある。これらの国の多くは医療体制が脆弱で、改善には人権擁護の進展が不可欠だが、銀行が行き過ぎた制裁を実行しているため重要な医薬品の輸入が妨げられている。これは脆弱な社会にさらに長期にわたる害をもたらすことになる。一般の人々は制裁の理由とされている政策に何の責任もない。それなのに長期にわたって不安定な状況におかれている。

ベネズエラでは、一部の病院が断続的な断水と停電に苦しみ、医薬品、設備、消毒剤、石鹼が不足している。こうした状況は制裁が課せられる以前からあったが、制裁が緩和されれば、より多くの資源を治療と流行防止に振り向けることができる。

医療従事者自身の健康を保護することは特に重要だ。危機への対応の欠陥を指摘したことで医療専門家が当局から罰せられることがあってはならない。医師、医療関係者および医療関係で働くすべての人々が最前線で私たち全員を守っている。

人権推進のためには国際協力と連帯が常に不可欠だが、今はすべての国の国益前進のためにも不可欠だ。世界のリーダーは協力すべきだ。

制裁対象国は透明な情報を提供し、必要な人道支援の申し出を受け入れ、脆弱な人々のニーズと権利を優先すべきだ。また、国内および国際諸機関が人道的活動を支障なくおこなえるよう保証する措置を採用すべきだ。

いかなる国も自国だけでこの疫病に効果的に立ち向かうことはできない。必要なのは連帯と協力、配慮の行動だ。国連のグティエレス事務総長が先週よびかけたように、COVID-19の蔓延に対抗するには一致した、断固とした刷新的な政策行動が必要だ。

(以上)

(2020年3月24日、国連人権高等弁務官事務所＝UNHCRのホームページから)

★国連事務総長も制裁解除をよびかけ＝フォーリン・ポリシー

アントニオ・グティエレス国連事務総長はG20諸国にあてた書簡のなかで、「私は、制裁を課された諸国が食料と基本的な医療資材およびCOVID-19医療へのアクセスを確保するために、その撤廃を奨励しています。いまは排除ではなく連帯の時です」と述べた。また「相互に関連した私たちの世界では医療制度の強さは最も脆弱な国と同じ程度しかないことを思い出してみましょう」とのべた。

(フォーリン・ポリシー誌 3月24日付)